

## スポーツ振興課の主な取組

### 1 あいちスポーツコミッションの取組について

スポーツ大会を招致、育成し、地域活性化につながる取組を進めるため、県内市町村、スポーツ関連団体、マスメディア、大学、企業等と連携する仕組みとして「あいちスポーツコミッション」を設置し、地域の関係者が一体となり取組を推進。

#### (1) フリーマガジン・Web サイト・SNS による情報発信

<フリーマガジン「aispo!」>

- ・ 県内で開催されるスポーツ大会やプロスポーツチーム・実業団チームの活動などを紹介
- ・ 年4回の発刊で、県内のイオングループ店舗、名鉄主要駅（名古屋、金山、栄町）、スポーツ施設等で配布



フリーマガジン  
「aispo!」

<Web サイト・SNS>

- ・ 県内のスポーツ大会情報やプロスポーツチーム・実業団チームの情報を発信
- ・ Facebook、X、Instagram でリアルタイムに配信
- ・ スポーツ大会の現地レポートやフリーマガジン「aispo!」と連動した記事をwebに掲載



公式マスコットキャラクター  
あいスポくん

#### (2) プロスポーツチーム等との連携

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム、実業団チームと連携し、スポーツ振興や地域課題の解決に向けた様々な取組を推進。

<2025年度の主な取組>

(愛知県庁本庁舎公開イベント)

本庁舎正面玄関前において、プロ3×3バスケットボールチームのAICHI S. ONEに所属する選手によるトークショーやバスケットボール3×3教室の開催、本庁舎内にて缶バッジ作成体験を実施。



本庁舎公開イベントの様子

(親子観戦企画)

中日ドラゴンズ、名古屋グランパス、トヨタヴェルブリッツ、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ等と、県内の小中学生やその保護者などを対象とした観戦企画を実施。



観戦企画PRポスター

### (3) 講演会等の開催

あいちスポーツコミッションの取組の一環として、毎年、講演会などを開催。

#### <2025 年度の取組>

- ・ 北海道日本ハムファイターズのチーフ・ベースボール・オフィサー（CBO）を務める栗山英樹氏による講演会を開催。

#### (講演会概要)

開催日：2026年1月17日（土）  
 場所：愛知芸術文化センター12階 アートスペース A  
 講師：栗山 英樹氏  
 講演内容：「信じる力」



## 2 全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成

本県での開催が決定した主な全国・国際スポーツ大会

大会名・競技名【規模】	日程	会場
①JPSA 設立 60 周年記念 World Para Swimming 公認 2025 ジャパンパラ水泳競技大会【全国】	2025/9/13～15	日本ガイシアリーナ (名古屋市)
②2025 BILLABONG TAHARA PRO (サーフィン)【国際】	2025/9/16～21	赤羽根町大石海岸 (ロングビーチ) (田原市)
③JPSA 設立 60 周年記念 2025 ジャパンパラゴールボール競技大会【国際】	2025/10/3, 4	豊橋市総合体育館
④2025 アジア BMX レーシング選手権【国際】	2025/11/1	名古屋競輪場 BMX レースコース
⑤近代五種アジア選手権 2025 愛知県安城市【国際】	2025/11/11～16	安城市総合運動公園
⑥JDSF BREAKING JAPAN OPEN 2025【全国】	2025/11/29	Aichi Sky Expo (常滑市)
⑦第 77 回全日本社会人ボクシング選手権大会/第 4 回全日本女子ジュニアボクシング選手権大会【全国】	2025/12/17～21	ダイセンアリーナ西尾
⑧全農杯 2026 年全日本卓球選手権大会 (ダブルスの部)【全国】	2026/1/29～2/1	スカイホール豊田
⑨第 13 回東アジア空手選手権大会【国際】	2026/4/25～26	豊橋市総合体育館
⑩2026 ジャパンパラ陸上競技大会【全国】	2026/5/16～17	パロマ瑞穂スタジアム (名古屋市)
⑪第 110 回日本陸上競技選手権大会【全国】	2026/6/12～14	パロマ瑞穂スタジアム (名古屋市)
⑫B. LEAGUE ALL-STAR GAME 2027【全国】	2027/1	IG アリーナ (名古屋市)
⑬マラソングランドチャンピオンシップ (MGC)【全国】	2027/10/3	名古屋市市内

※上記大会は、県が盛り上げ支援を実施（予定を含む）。

### 3 スポーツ大会を活用した地域振興について

国際的・全国的なスポーツ大会の盛り上げを行い、大会の持つ集客力や情報発信力を活用して愛知の魅力を国内外に発信し、地域の活性化を図る。

#### (1) 奥三河トレイルランニングレース（旧：奥三河パワートレイル）

林道・砂利道・登山道などの未舗装路を走るトレイルランニング大会。アップダウンが厳しい本格的な中距離レースで、2015年から開催。2025年はショートコース（31km）とロングコース（61km）の2種目を実施予定であったが、悪天候が予想されたため中止。

#### <大会概要>

- ・ 開催日程：2025年10月25日（土）、26日（日）  
※競技開催日は26日（日）
- ・ 開催場所：新城市、設楽町、豊根村
- ・ 種目：Power Trail 60K（PT60K）  
Tokai Nature Trail 30K（TNT30K）
- ・ コース：PT60K「茶臼山高原」から「湯谷温泉イベント広場」までの約61km、累計標高差（登りの高さの合計）約3,700m  
TNT30K「設楽町立田口小学校」から「湯谷温泉イベント広場」までの約31km、累計標高差約2,500m
- ・ エントリー数：PT60K 224人  
TNT30K 219人



PT60Kの副賞トロフィー  
（ヒノキ×アイアン製）

#### <県の取組>

- ・ エイドステーションでの奥三河の特産品（五平餅、ミネアサヒで作ったおにぎり等）の提供
- ・ 大会オリジナルの温泉タオル、PT60K副賞トロフィー（ヒノキ×アイアン製）、TNT30K副賞トロフィー（間伐材を活用したランプシェード）の制作
- ・ 大会コースでの案内表示板の設置
- ・ 大会コースを使用したイベントの開催とその様子を動画にまとめ、大会や奥三河の魅力をSNS等によりPR
- ・ スタート会場及びフィニッシュ会場の盛り上げ など



TNT30Kの副賞トロフィー（間伐材を活用したランプシェード型トロフィー）

#### <次回大会>

調整中

## (2) FIA 世界ラリー選手権 (WRC) ラリージャパン

国際自動車連盟 (FIA) が 1973 年に創設したラリー競技の最高峰に位置する世界選手権。F1 と同様の人気を誇り、2025 年は欧州を中心に世界で 14 戦開催され、第 13 戦を 11 月に愛知・岐阜にて開催した。

### <大会概要>

- ・ 開催日程：2025 年 11 月 6 日 (木) ～ 9 日 (日)
- ・ 開催場所：豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道、林道、農道 (岡崎市・豊田市・新城市・設楽町・中津川市・恵那市)
- ・ サービスパーク：豊田スタジアム
- ・ 興行主体：ラリージャパン 2025 実行委員会 (豊田市、恵那市、トヨタ・モータースポーツ・クラブ、(特非) M. O. S. C. O、豊田まちづくり (株))
- ・ 協力：ラリージャパン 2025 関係自治体連携会議 (開催場所の自治体、スーパーバイザー：愛知県・岐阜県、アドバイザー：名古屋市、長久手市)
- ・ 参加台数：38 台
- ・ 観戦者数：530,600 人※有料観客席、イベント会場、沿道応援観客数の合計



©Rally Japan

### <県の取組>

- ・ 都市部でラリーを盛上げ、ラリー文化の裾野を広げるため、名古屋市・豊田市とともに「フォーラムエイト・ラリージャパン応援フェス@Hisaya-odori Park (名古屋市中区)」を開催。ドライバートークショーやサイン会、ラリーカーの展示を実施。
- ・ 公共交通機関等での歓迎装飾の実施 (久屋大通駅、栄駅、Hisaya-odori Park)
- ・ パブリックビューイングイベントの開催 (Hisaya-odori Park)
- ・ 学生を対象としたサービスパーク見学会の開催
- ・ 表彰台登壇者 (1～3 位) への知事賞の贈呈
- ・ SNS・各種メディアを活用した情報発信
- ・ 県特産品プレゼント付きのアンケート調査の実施 など



ドライバーによるサイン会



Hisaya-odori Park でのパブリックビューイング

### <次回大会>

- ・ 開催日程：2026 年 5 月 28 日 (木) ～ 31 日 (日)  
※名古屋市が大会実行委員会に参画

### (3) RALLY 三河湾

年間で8戦開催されるラリー競技の国内最高峰である JAF 全日本ラリー選手権の1戦として2024年から蒲郡市内を中心に開催。新城ラリーのレガシーを引き継ぎ、三河地方でのラリー文化のさらなる普及を目指す。

#### <大会概要 (2024 年度実績) >

- ・ 開催日程：2025年2月28日(金)～3月2日(日)
- ・ 開催場所：ラグーナ蒲郡(メイン会場)及び周辺自治体の一般公道・林道等(蒲郡市、岡崎市、豊川市、幸田町)
- ・ 主催：ラリー三河湾実行委員会(構成団体：MASC、愛知県、蒲郡市、トヨタ自動車(株)、名古屋テレビ放送(株)、(株)ラグナマリーナ、(株)ラグーナテンボス)等
- ・ オブザーバー：岡崎市、豊川市、幸田町
- ・ 参加台数：78台
- ・ 観戦者数：85,800人※有料・無料観戦エリア、イベント会場の合計(沿道応援除く)



蒲郡市で開催したセレモニアルスタート

#### <県の取組>

- ・ ラリーカー約10台が栄や名古屋駅などをパレードする RALLY 三河湾パレード in 名古屋の開催
- ・ 公共交通機関等での歓迎装飾(JR車内等)
- ・ ラリー車両の展示及び大会PRの実施(ラグーナテンボス)
- ・ 大会情報や開催市町の観光情報・周遊プランを掲載した観戦・観光ガイドブックの発行
- ・ 大会のライブ配信
- ・ 優勝したドライバー・コドライバー(ナビゲーター)に知事賞(三河木綿の半纏)の贈呈
- ・ メイン会場にPRブースの設置
- ・ 県特産品プレゼント付きのアンケート調査の実施 など



RALLY 三河湾パレード in 名古屋  
(オアシス21緑の大地からパレードがスタート)

#### <次回大会>

- ・ 開催日程：2026年2月27日(金)～3月1日(日)  
※蒲郡市、岡崎市、西尾市、幸田町において開催。  
新たに愛知こどもの国にSSを設置して開催予定。



表彰式(三河木綿の半纏)

#### (4) マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知

世界最大の女子マラソンである名古屋ウィメンズマラソン、競技用車いす（レーサー）による女性のみ名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン、名古屋シティマラソンで構成される大会。

##### <大会概要（2024年度実績）>

- ・ 開催日程：2025年3月7日（金）～9日（日）  
※ 競技開催日は9日（日）
- ・ 出走者数：名古屋ウィメンズマラソン 15,804人（※）  
名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 9人  
名古屋シティマラソン 11,367人  
※このほか、オンラインマラソンに819人がエントリー。  
海外からのエントリー数は43の国と地域から1,838人（海外在住の日本人含む）。
- ・ 観戦者数等：マラソン EXPO 来場者 103,369人、沿道観戦者約25万人（※実行委員会発表）、ボランティア約6,811人



名古屋ウィメンズマラソン

##### <県の取組>

- ・ マラソン EXPO において愛知の食・観光・スポーツ・芸術等をPR
- ・ あいちの花のPR（フィニッシュレーンの装飾、優勝者へのビクトリーブーケの贈呈等）
- ・ エイドステーションでの愛知の特産品（ひつまぶしあられ等）の提供
- ・ ホイールチェアマラソンのフィニッシュエリアでの実況や応援グッズの配布による大会の盛り上げ。
- ・ 名古屋駅、栄駅、中部国際空港における歓迎装飾
- ・ 名古屋ウィメンズマラソンでの参加賞の配布
- ・ 特設 Web サイトの制作及び大会のライブ配信 など



名古屋ウィメンズ  
ホイールチェアマラソン  
表彰式の様子

##### <次回大会>

- ・ 開催日程：2026年3月6日（金）～8日（日）

## (5) ISU グランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会愛知・名古屋 2025

アメリカ、カナダ、中国、フランス、フィンランド、日本で開催されるグランプリシリーズ6大会で上位成績を獲得した選手が出場する国際大会。ミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピック（2026年2月）の選考対象にもなった注目度の高い大会。

### <大会概要>

- ・ 開催日程：2025年12月4日（木）～7日（日）
- ・ 開催場所：IGアリーナ
- ・ 主催：国際スケート連盟（ISU）
- ・ 主管：公益財団法人日本スケート連盟（JSF）
- ・ 観戦者数：4日間計 約32,000人



グランプリファイナル 2025

### <県の取組>

名古屋市と共同で支援委員会を組織し、大会の盛上げを支援した。

- ・ 広報資材の制作
- ・ 競技解説冊子の制作業務
- ・ スケート教室の開催
- ・ 大会の直前盛上げ
- ・ 『記念ドニチエコきっぷ』による大会PR
- ・ 大会会場等における地域のPR
- ・ 地域製品の提供による地域のPR



支援委員会が制作したポスター



競技解説冊子



フォトスポット

#### 4 あいちスポーツイノベーションプロジェクトの推進について

STATION Ai オープン、愛知国際アリーナ開業、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会を始めとする国際スポーツ大会の開催などを起爆剤として、産学官等の連携により、スポーツ分野のイノベーションを推進し、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化及びスポーツを通じた地域活性化を図る。

<2025年度事業の内容（県事業実施分）>

(1) コンソーシアムの運営

- ・ 推進母体となる「あいちスポーツイノベーションコンソーシアム AiSIA」の運営（セミナーの開催 等）
- ・ プロジェクトアドバイザーの委嘱

(2) スポーツビジネス人材育成講座の開催

- ・ スポーツ産業を支える人材育成を目的に、社会人と学生を対象とした全7回の人材育成講座「あいちスポーツ未来共創ラボ」を開催

(3) スポーツチーム等との連携共創事業「AiSIA アクセラレーションプログラム」の実施

- ・ スポーツチーム共通の集客に関する課題の解決に向け、2024年度実証を支援した2事業について、実装に向けた伴走支援を実施（対象事業者：KUROFUNA(株)、(株)はこぼん）
- ・ 2025年度の新規募集分として、スポーツチーム等が解決したいチーム課題及び社会課題をテーマに課題解決に資する事業・サービスを募集し、実証を支援（連携チーム：名古屋グランパス、トヨタヴェルブリッツ、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ）



AiSIA 総会後の講演  
(スクラムベンチャーズ 宮田氏)



あいちスポーツ未来共創ラボ  
(グループワーク)



AiSIA アクセラレーションプログラム  
実証実験 (IG アリーナ内)



AiSIA アクセラレーションプログラム  
オープンセッション